

機械借上料330万円は高くないか

総務厚生常任委員会

●平成30年度大崎町一般会計補正予算(第4号)

◇公営住宅管理費 修繕料(170万円)

質：公営住宅、町営住宅については老朽化が進んでいる住宅が多いが、修繕などのあり方などについて今後どのように進めていくのか。(上原議員)

答：公営住宅及び町営住宅については、長寿命化計画を策定している。その計画に基づいて計画的に修繕や建て替えなどを実施していく。

◇農地費 時間外勤務手当(30万円)

質：年度末までの予算であると思うが、積算根拠はどうなっているか。(吉原議員)

答：益丸地区水田は場整備や次期は場整備計画の3地区における地元推進委員会や営農会議に出席をするためのもので、職員3名分の時間外勤務手当であり、益丸、有村下、谷迫、神領の4地区において計19回の出席を見込んでいる。

◇教職員住宅管理費 機械借上料(330万円)

質：機械借上料の330万円は3棟分の解体費用ということであるが、金額が高いように思う。入札にかける考えはないか。(上原議員)

答：機械借上料は、年度当初、町と町内の指名業者の間で単価契約を結んでおり、その契約単価に基づいて積算している。また、建物本体の解体費用のみではなく、宅地内にあるブロック塀などの解体費用も含まれている。

汚泥処分委託費の根拠を示せ

文教経済常任委員会

●平成30年度大崎町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

質：汚泥処分委託費について、1トン当たりどれくらい増額されたのか。(中山議員)

答：平成29年度の処分費は、1トン当たり10500円、平成30年度から16500円で6000円の増額となった。

質：増額の主な要因は何か。(中山議員)

答：以前から汚泥処分の受託者より、処分費の増額の要望を受けていたが、平成29年度までは1トン当たり10500円で契約していた。平成30年度の見積り段階で再度増額の要望があり、その根拠などについて精査した。その内容について下水道の汚泥は現在、志布志市松山の有機工場で処分し堆肥化されているが、年間の費用については、年180トン処分されると1kg当たり16・6円となる。この金額に運搬費も加えると1kg当たり24・524円となり、1トン当たり約24000円以上の処分費が掛かるといふ積算資料の提示が受託業者よりあった。今回16500円になった根拠は、大崎町の生ごみ処分の契約をそおりサイクルセンターと大崎町で取り交わしており、家庭系の生ごみで1kg当たり16・5円という契約があるので、この単価が根拠となった。

要望：委託料の増額について、根拠となったものが同系列の実績単価であることから、委託費については今後更に委託業者を広く公募されるなど、一考なされるよう当委員会の意見として申し添える。